

## 市政運営についての所信表明

令和2年6月10日

令和2年第5回市議会定例会の開会に当たり、議員各位に敬意を表するとともに、諸議案の提案に先立ちまして、今後の市政運営について、市長として、私の所信を述べさせていただきます。

最初に、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症についてであります。

全国において、新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた900人を超える方々に、心より哀悼の意を表するとともに、感染が確認された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

また、今も医療現場で昼夜問わず最前線で懸命の治療に当たっておられる医療従事者や関係者に、敬意と感謝を表するとともに、全国に緊急事態宣言が発せられ、休業要請や外出自粛など、社会経済活動において多大な影響を受けられた方々のご心痛の程、拝察申し上げます。

市長として、1日も早い収束と不安のない生活が取り戻せますことを切に願うところであります。

さて、先の市長選挙において、再任をいただき、2期目をスタートさせたところであります。1期目同様、その責任の重大さを痛感し、ご期待にお応えしなければならない強い使命感で身の引き締まる思いであります。

これまで市長として1期4年、県議会議員として3期9年余り、下松市政の振興と発展のため、市民の皆様のご理解とご協力を賜り、子育て支援策をはじめとする様々な政策の実現に向けて、市民の皆様をはじめ、多くの方々の支援を力に「安全安心の確保」や「魅力づくりの創出」を推進してまいりました。

また、これまで先人たちが築き上げてきた80有余年の歴史を継承し、未来へ確実に繋げるため、下松市政の充実・発展に尽力し、結果として、本年2月末には、57,396人という過去最多の人口を達成するなど、元気で豊かな住みよいまちとして各方面から評価をいただき、市長として、誇らしく、まちの勢いを感じているところであります。

それでは、今後4年間の市政運営について、私の所信を申し上げます。

まず、3月定例会及び5月臨時会で議決をいただきました令和2年度当初予算及び新型コロナウイルス感染症緊急対策予算の早期執行に向け、全力を挙げて取り組むとともに、この6月定例会においても、市民の命と財産を守るため、市民が日常抱える諸課題への対応や、安全で安心して暮らせるまちの構築を目指し、新たな施策を盛り込んだ補正予算としてご提案しておりますので、ご審議の程よろしくお願い申し上げます。

また、市のまちづくりの基本方針である、現在策定中の「下松市総合計画・前期基本計画」や、昨年度末に改訂した「下松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を市政運営の方針として、今後の政策や施策へ反映させてまいります。

私は、2期目の市政運営の柱として、「暮らしの安全・安心対策の充実・強化」、「産官民による魅力あるまちづくりの推進」の2つを最重点政策に掲げて、市民の皆様にご理解やご協力をお願いしたところであります。

すべての市民が、下松市総合計画に掲げる「都市と自然のバランスのとれた住みよさ日本一の星ふるまち」を実感できるよう、国や県、

他市町等と連携しつつ、「オールくだまつ」で8つの政策課題の解決に向けて、全力で取り組んでまいります。

まず、1つ目に、「暮らしの安全・安心対策の充実・強化」であります。

近年、大規模な自然災害が各地で頻繁に発生しております。本市においても平成30年7月豪雨は記憶に新しく、土砂災害による笠戸島地区の孤立や、米川地区の道路崩壊、市内各地での浸水等、甚大な被害を経験し、「市民が不安なく生活できるまち」、「災害発生時においても最小限に食い止められるまち」は、市民の命と財産を預かる私に課せられた大きな責務であります。

私は、災害逃げ遅れゼロを目指し、避難所等の整備・充実、洪水ハザードマップをはじめとした未然防止対策、防災ラジオ等の情報伝達手段の確保・充実など、ハード・ソフト両面から安全体制・対策の強化に努めてまいります。加えて、市民が事件や事故などにも巻き込まれないよう安全で安心して暮らすことのできるまちを作り上げるため、全力を挙げて取り組んでまいります。

常に、危機管理意識を持ち、緊急かつ的確に対応・対策が講じられるよう、情報収集や情報発信、人材育成や組織力の強化に努めつつ、市民・地域・産業界が連携した取組の中で、自助・共助・公助による官民協働社会の仕組みを定着・実現してまいります。

また、暮らしに密着した道路・河川・上下水道等の社会インフラの整備を計画的に進めるとともに、下松・光間道路新設の実現に向けて検討を始めるなど、国・県・近隣市と連携した公共事業を着実に推進してまいります。

次に、子育て支援策では、待機児童の解消や学童保育の充実、子育て世代の経済的支援として医療費助成制度等の拡充など、安心して子育てできる環境整備やICT教育環境の充実、教育施設・設備の整備、コミュニティスクールの充実など、子どもの学びや健やかな成長に向けて環境を整えてまいります。さらに、予防医療・介護、歯科保健対策の充実により市民の健康寿命の延伸を進めるとともに、保健・医療・福祉の連携による地域包括ケアシステム構築に向けて、高齢者や障害者等が健康で活躍できる地域社会の実現を目指してまいります。

今年の「市長と地域の井戸端会議」では、「安全安心のまちづくり」や「魅力あるまちづくり」について、地域の皆様から数多くのご意見やご提言を寄せていただきました。災害等への備えや避難所の問題のほか、野犬やイノシシ等の防除、買い物困難者への支援や空き家問題等の解消など、暮らしに密着した地域課題へしっかりと耳を傾け、「暮らしの安全・安心」を最優先テーマとして、課題解決に向けて全力で取り組んでまいります。

2つ目は、「産官民による魅力あるまちづくりの推進」であります。

まちの魅力を高めることは、行政だけでは限界があり、今年の市制施行80周年記念事業で実施した「道路を走る高速鉄道車両見学プロジェクト」等の取組の中で、産官民が持つ、それぞれの特性を事業に活かすことで、まちの魅力を最大限に発揮できた実績は、これからのまちの魅力発信の理想のスタイルであると認識したところであり、産官民協働による事業展開には大きな可能性を感じているところでもあります。

さらに、本年2月末に過去最多の人口を記録したものの、地域間格差は依然として広がりつつあることから、この2期目の大きな柱とし

て、豊井・恋ヶ浜地区等の新たな市街地形成を掲げ、まちづくり整備計画に沿った道路網、公園、下水道等の社会インフラの整備の早期実現に向けて加速してまいります。

本市は、「ものづくり」を産業の柱として、これからも発展し続けるものと確信しております。さらに元気で豊かな下松市の未来を創るために、地域の実情や特性を活かした、1次・2次・3次産業、すべての産業の育成と振興に全力で取り組むとともに、新たな企業誘致や商業立地などによる雇用促進、社会インフラの整備による人口定住や移住促進など、それぞれの産業の活性化に努めてまいります。

そして、国民宿舎大城、笠戸島家族旅行村や栽培漁業センターなどの施設の活用、下松スポーツ公園や下松公園などの公園施設等の整備、バドミントンやハンドボールなどを活用したスポーツ大会等の誘致、公式マスコットキャラクター「くだまる」の活用など、今ある施設や取組を最大限活用し、集客力の増大や交流人口の拡大を図るとともに、あらゆる世代において、「下松愛」の醸成に繋がるよう、「市民力」、「地域力」、「産業力」を結集した「オールくだまつ」で魅力あるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

次に、わが国の社会経済情勢であります。ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の地球規模での蔓延は、国民生活、社会・経済活動、雇用環境、消費に甚大な影響を及ぼし、収束が見えない状況の中では、国民生活を取り巻く環境は、極めて不透明であり、今後の動向には、最大限の注視が必要であります。

本市においても、当初予算を3月に議決していただきましたが、第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症対応・対策により、

事業やイベントの中止、停滞等は避けられないことから、本年度の事業執行にも大きな影響が予測されます。

また、市税や地方交付税等の一般財源は、大きな増収が期待できない中、このような急激な社会経済情勢の変化に、法人等の決算指標や今後の経済動向、さらに消費の減退など、各種税目や交付金に与える影響は、不透明感を払拭できません。当面の措置として、減収における国の補填等の対応策に期待するところではありますが、今後の税收等への影響による財源不足には、財政調整基金をはじめその他の基金、市債の活用、事業の組替え等による適切な財源確保や財源調整を行ってまいります。

このような中でも、昨今の市民ニーズの高まりの中で、「選択と集中」の視点で、安定した市民サービスを提供していかなければならないことから、昨年、策定した「財政構造の見直し指針」に基づき、構造的な財源不足の縮減、解消に向けて、事務事業の見直しを一層進めるほか、内部管理経費を削減するなど、行財政改革を進めつつ、本市の舵取りを進めていく所存であります。

最後に、私、市長1人の力では、市政運営はできません。

私が公約で掲げたとおり、「市民力」、「地域力」、「産業力」による官民協働による取組の実現に向けて、市議会議員各位と執行部が、両輪となって、この難局を乗り切っていく覚悟でありますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

今後も「都市と自然のバランスのとれた住みよさ日本一の星ふるまち」の実現のため、全身全霊、身を粉にして、市政運営に取り組んでまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

以上、私の所信表明とさせていただきます。